**進路だより**

**令和７年　３月吉日**

**都立中野特別支援学校**

**第　５　号**

**校長　和田　慎也**

**担当　中山　里奈**



**～卒業生の皆さん～**

**御卒業おめでとうございます**

早いもので、今年度も残すところ、数日となりました。進路指導に関しては、それぞれの学部で、就業体験や実習などに取り組みました。児童・生徒たちは様々な学習活動を通して、新たな経験をしたり、将来に向けて働くイメージをもったり、力を身に付けたりすることができたと思います。御家庭にも御理解、御協力いただきありがとうございました。

今号では、専任からの報告とともに、各学部で、今年度に取り組んだ進路指導などについて報告いたします。

【専任より】

◆保護者向け進路研修会

先日、今年度３回目の保護者向け進路研修会を実施いたしました。当日、学校に足をお運びいただいて御参加いただきました皆様、オンラインにて御参加いただきました皆様、ありがとうございました。

３回目の今回は、「障害基礎年金」について、現役の社会保険労務士の方にお話をいただきました。障害基礎年金は、申請者全員が受給できるものではありません。申請は、学校卒業後の20歳の誕生日以降になりますが、それまでに受給するための準備をして、忘れずに申請したいものです。

◆高等部３年生の進路報告会

高等部３年生になると、自分の進路先を決めるための現場実習が始まります。多くの方が２～３回の実習を通して、進路希望先とのマッチングを行い、（就労継続B型や生活介護などの）福祉施設の場合は行政による調整の結果で、企業の場合はその後の採用選考の結果で、進路先が決定します。進路希望先とミスマッチとなった場合、実習回数が増えたり、進路希望を変更したりすることになります。中には、４回以上実習を行う方もいるなど、自分の進路先を決めることに対して懸命に取り組んでいます。

それぞれに紆余曲折がありながらも、学校卒業後の進路先に一定の目途が立った３年生。高等部の後輩たちや先生方の前で、自分の進路先や将来の目標を発表しました。発表の言葉の中には、「将来は仕事を頑張りたい」などの目標があれば、「家族のために頑張りたい」「家族に〇〇してあげたい」などの家族への感謝の言葉もありました。改めて、高等部３年生の３年間の成長を感じたひと時でした。

◆卒業する皆様へ

高等部を卒業する生徒の皆さん。御卒業おめでとうございます。いよいよ社会人としての生活が始まります。長い人生の中で、いろいろな困難なことが起こることと思います。その時は一人で抱え込まず、周りの誰かに相談しましょう。きっと皆さんの力になってくれるはずです。

保護者の皆様。お子様の御卒業おめでとうございます。また、本校の進路指導への御理解・御協力に感謝いたします。これから始まる進路先での生活の中で、学校環境との大きな違いに戸惑われることがあるかもしれません。福祉施設においては、学校とは環境やマンパワーが異なります。職員の中には、これから育っていく若者もいます。また、企業において、企業の方は障害のある方の支援のプロではありません。「我が子の応援団を（保護者が）育てていく」気持ちで、お子様を見守り支えてほしいと思います。学校も応援団の一人としてサポートいたしますので、お困りごとの際には御連絡ください。　（田邉　大樹）

【専任より】

◆放課後等デイサービスについて

　本校の多くの生徒たちは下校後、放課後等デイサービスを利用しています。放課後等デイサービスは、障害のある子どもを対象に、学校の授業が終わった後や長期休暇中に、発達支援を提供する福祉サービスです。児童・生徒向けのサービスのため、学校卒業後は利用することができなくなります。卒業後の進路先である、生活介護事業所や就労継続支援B型事業所などの福祉施設の場合、サービス提供時間が午後３～４時までの施設が多く、放課後等デイサービスの利用ができなくなることから、夕方の時間の活用の仕方を考えなければならなくなります。夕方の時間の活用を考える上で、在学中から準備できることがあるかと思います。一人で留守番をしてみる、一人通学の練習をしてみる、移動支援のサービスを利用してヘルパーさんと好きな所へ出かけてみるなど、お子様の実態、興味関心に合わせて少しずつ取り組んでみてはいかがでしょうか。そうした取り組みの積み重ねがお子様の将来の自立へと繋がります。お子様のより良い将来のために是非早い段階からの対策を一緒に考えていきましょう。

◆基本的生活習慣の確立に向けて

社会人となって活躍するための一番の基本は、「遅刻・欠席をせずに毎日通い続ける」ことです。「毎日元気に休まず通い続ける」ことは、どの進路先からも求められるものとなります。研修会でよくお伝えをさせていただく職業準備性ピラミッドの土台部分とも重なります。長く会社や事業所で活躍しているほとんどの卒業生は、在学中から土台部分がしっかりとしていました。様々な相談ができる教員のいる在学中に基本的生活習慣を確立してしまいましょう。そして、卒業後すぐの活躍へ一緒に備えていきましょう。

（江川　拓郎）

＜小学部＞

今年度も小学部では５、６年生が校外での就業体験を実施しました。社会や地域と連携した体験的な学習を通して、まずは「身近な仕事について知る」という段階から、働くことの基礎を育むことのできる貴重な機会となりました。また、６年生は中学部への進学に向けて、作業学習などの授業体験をしたり、中学生活についての話を聞いたりしました。その中で、児童一人ひとりが、これから先の生活についてのイメージをもち、「楽しみだね。」「こんなことをやってみたいね。」と、新たなスタートを心待ちにする様子が見られました。就業体験や中学部の見学は、５、６年生の学習になっていますが、小学部では、１年生の頃から、基本的な挨拶、学級の中で役割を担い、係の仕事に取り組む責任感や達成感、自分でできることを増やしていこうとする意欲や態度を育み、高学年での就業体験や中学部の生活へとつなげていくことを目指しています。次年度も、いろいろな経験を丁寧に積み重ね、将来の生活に向けて、一人ひとりの可能性を広げていくことを大切に、進路指導を進めていきたいと思います。

保護者のみなさま、御理解、御協力いただきありがとうございました。　　　　　　（中山　里奈）

（湊　友里）

＜中学部＞

　中学部では、日々の学習の中で自分の力を伸ばしたり、高等部や校外での就業体験から将来へのイメージを見付けたりと一年間を通して様々な経験をしてきました。各学年から今年度取り組んでできたことをお伝えしていきます。

１年生：中学部に入学して初めて学習した「職業」では、仕事のポイントとなる「挨拶」、「身だしなみ」、「ルールやマナー」、「健康な身体」について学んできました。買い物学習や清掃、ふらっとなかのでの就業体験など実際の活動を通して、働くイメージをもち、将来の自立に向けて考えるきっかけになりました。

２年生：３学期は「通勤」について学習しました。ステップ１は校内移動。目的地の教室までルートを考えて自分で移動します。ステップ２は学校周辺の校外。校庭やつつじ館など、校舎の外にも移動しました。ステップ３は東京都庁まで公共交通機関を利用し、朝のラッシュで混雑したバスの中での過ごし方を学習しました。ステップ４は自宅から校舎までの移動ルートを調べて、どれぐらい時間がかかるのか、どんなルートがあるのかを学習しました。来年は修学旅行で長時間での移動があり、活かしていきたいと思います。

３年生： 御卒業おめでとうございます。中学部の３年間では職業や作業学習の時間を主として働くことについて学んできました。学んできたことが日常生活の場面や学習の中で見られるようになり、大きな成長を感じ、とても嬉しく思います。これまでの進路指導に御理解、御協力いただきありがとうございました。それぞれの場所で大きく成長することを願って応援しています。

(坪田・玉野・石田)

＜高等部１年＞

　高等部１年生では、３学期に「ミニ実習」を実施しました。保護者の皆様におかれましては、持ち物や昼食の準備などの御協力、ありがとうございました。

　実習当日は、緊張や不安から表情が硬い生徒が多かったですが、友達から「いってらっしゃい！」「がんばって！」と応援してもらうと表情が和らぎ、実習に出発することができました。実習先では、学校では扱えない本物の製品や仕事道具などを扱って、お昼過ぎまで作業を行いました。慣れない場所での初めての仕事は生徒たちにとって、今まで感じたことのない緊張感があったことと思います。実習を終えると、達成感と疲れが混ざった大人の表情で、学校に戻りました。学校に戻ると他の友達から「おかえり！」と明るく声をかけてもらい、それも達成感を感じる一助になったようでした。

　１年生の進路学習の目標は「知る」でした。この１年、職業の授業や進路行事（職場見学、ビジネスマナー講座、ミニ実習）を通して、卒業後の生活を知ることができたと思います。２年生の目標は、「考える」です。一人ひとりがより主体的になって、「自分はどのような大人になりたいのか？」「どのような仕事をしたいのか？」を考えられるよう、次年度以降も取り組んで参ります。

今後も御家庭と協力しながら、進路指導を進めていきます。引き続きよろしくお願い致します。

(久野・久保)

＜高等部２年＞

　日頃の進路学習に加えて、６月には「ビジネスマナー講座」が行いました。２つのグループに分かれて、それぞれ「株式会社パソナハートフル」「一般社団法人　中野区障害者福祉事業団」から講師をお迎えして、身だしなみや報告、連絡、相談の大切さを学習しました。これから産業現場等における実習（現場実習）を控える生徒たちにとって、良い緊張感のもと社会人に向けた階段を一歩上ることができました。

　そして、１学期には、「ミニ実習」がありました。福祉事業所や企業で、引率教員と一緒に取り組む就業体験でしたが、生徒皆一様に学校とは違った引き締まった表情で参加していました。その後の進路面談では、現場実習に向けての強みや課題を御家庭と共有でき、非常に有意義な内容となりました。

　２学期から３学期にかけて、現場実習がありました。生徒にとって、慣れない環境ということもあり、初日は緊張する様子も見られましたが、最終日には笑顔も見られ、学校とは違った学習の機会を通して、大きな自信となったようです。その証拠に、実習に行く前の１０月に行われた「高２現場実習激励会」では、どこかたどたどしい発表だったのが、実習終了後の３月に行われた「高２現場実習報告会」では、皆が前を向き堂々と発表していたのが印象的でした。

４月からは、高等部３年生。いよいよ進路先を決める学年となります。これからも、御家庭と連携を深めながら進路指導を進めていく所存ですので、何とぞよろしくお願い致します。　　 　（長谷川・宗形）

★進路研修会における質問から★

Ｑ．注意欠陥・多動性障害（ADHD）の薬を服用していますが、障害年金の申請に影響はありますか？

Ａ．注意欠陥・多動性障害（ADHD）は、障害年金の認定対象となっていますので、薬を服用していても申請に影響はありません。基準を満たせば受給することができます。受給するためにも、注意欠陥・多動性障害（ADHD）の様々な症状によって、日常生活や仕事に影響が出ていることを、「申立書」や「診断書」に記入することが大事です。

＜高等部３年＞

いつも温かい御支援と御理解を賜り、心より感謝申し上げます。

今春、生徒達は高等部３年生の全課程を終え、新たな進路へと歩みだします、保護者の皆様の御協力があってこそ成し遂げられたものと感じております。

これから生徒達は、社会に出て自立した生活を送るための重要なステージに進むことになります。

私たち教職員一同も引き続きサポートに努めてまいりますが、何よりも保護者の皆様の温かい見守りと励ましが、生徒達にとって大きな力になることと存じます。

どうかこれからも、生徒達の未来を一緒に見守り、支えていただきますようお願い申し上げます。

皆様の御家庭に幸多きことをお祈り申し上げ、高等部３年生の保護者の皆様に対しての進路便りの締めくくりとさせていただきます。

心から感謝を込めて。

（小暮・本橋）